

令和6年度 第14回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和7年1月25日(土)9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市総合福祉センター2階 大集会室
- 3 出席者 子ども会議委員12名、事務局3名
- 4 活動内容 (1) 子どもの権利トークイベントに向けて
(2) グループ活動

5 開催概要

子どもの権利トークイベントのリハーサルを行い、流れの確認等を行いました。

子どもの権利トークイベントに向けて

まずは、当日の役割決めを行いました。司会進行は小学生委員の立候補によりすぐ決まり、各ゲームの担当についても、中高生委員が人数の少ないところに進んで手を挙げてくれたため、スムーズに決めることができました。

次に、決まった役割のもとリハーサルを行いました。アイズブレイクでは、実際にやってみて時間が足りないという意見が出たので、時間を3分から5分に延長することにしました。

トークゲームは、話し合いの練習も兼ねて本番より時間を短くして行い、当日使用しないテーマの中から多数決でテーマを決めました。

ディベートは、「朝食はご飯派？パン派？」について、ご飯派とパン派に分かれて議論しました。どちらのグループも数値を用いた主張をしたり、相手のメリットに対してデメリットを指摘したりと盛り上がりました。事務局に審判をお願いし、今回は、みんなで協力している様子が特に見られたご飯派の勝ちとなりました。

ディスカッションは、「宿題は必要？」について2グループに分かれて話し合いました。小学生委員が多いグループでは、「宿題がないと頭が悪くなると思うから必要だと思う」という必要派と「宿題がない方が勉強のやる気が出てくる」という不要派で割れましたが、「宿題は必要だが、週2回程度で、習い事などと両立できるくらいがちょうどいいと思う」とまとめました。中高生委員が多いグループでは、「嫌々やるよりは自分から進んでやった方が自分のためになる」と不要派が多く、「宿題としてよく出される一人勉強をなくし、自分で時間や量などを決める自主勉強をするべきだ」とまとめ、事務局から講評をいただき終了しました。

最後に、お楽しみコーナーの流れをひと通り確認しました。当日は参加者に楽しんでもらえるように盛り上げたいと思います。



グループ活動

<青森シェアし隊>

前回の会議で、子ども会議フォーラムの来場者からいただいた意見や提案を残りの活動に取り入れていくことにしたため、その活動を進めました。

まずは、リアルな青森市の子どもたちのりんご見分け力について Instagram に投稿するため、(一社)青森県りんご対策協議会 HP の『りんご検定 見分けの達人編』をやりました。見分けの達人編は、全部で 50 問あり、40 点以上で合格のところ、実際に 4 名の委員がやってみましたが、合格者は 0 名でした。特に色が似ているものが難しく、聞いたことのない品種のりんごは名前から想像するなどし、みんな苦戦しました。この結果についての投稿とあわせてトークイベントの告知投稿の原稿も作成することができました。

次に、子どもの権利についての理解が浸透していないと思うという意見から、さらなる周知を行うため、子どもの権利に関する新聞を作ることにしました。A3 サイズで作ることにし、記事について話し合い、担当を決めました。完成させることができなかったため、各自持ち帰り次回までに進めてくることにしました。



<UPDATE A. B. C. >

中高生の遊べる場所や勉強スペースのマップ作成について話し合いました。

これまで意見を出し合い、調査をして集めた情報を基に、より見やすく、利用しやすいマップにするための工夫の仕方を考えました。マップには、調べた勉強できる場所のほか、遊べる場所として子ども会議フォーラムでの意見提案に当たり、公園の担当課から情報をいただいたボール遊びのできる広いスペースのある公園について載せることとし、マップには番号を表示し、別のスペースに番号ごとの詳しい情報を載せることにしました。

また、勉強スペースや遊べる場所を色分けして見やすく表示することにしました。

そのほか、マップのイメージを書いてみたりして、だんだんと完成イメージが出来上がってきました。次回のグループ活動で仕上げたいと思います。



今回は、トークイベント本番です。子どもの権利のさらなる周知に繋がるイベントになるようにしたいと思います。